



社会福祉法人 人を支える 生活を支える

佐賀整肢学園

SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

■発行：令和6年6月

■発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園

■発行者：理事長 中尾清一郎

■編集：法人広報誌編集委員

学園タイムス

2024-6 Vol. **41**

社会福祉法人 佐賀整肢学園

Sagaseishigakuen times

「フォレストアドベンチャー・吉野ヶ里」

吉野ヶ里町に2020年にオープンした西日本最大のアウトドアパーク「フォレストアドベンチャー・吉野ヶ里」以前は「トム・ソーヤの森」と呼ばれていましたが、改修され「アドベンチャーバレー SAGA」として生まれ変わりました。子どもから大人まで大自然の中で楽しむことができます。暑さや虫が苦手な方は秋冬に行くのがおすすめです。



巻頭言...2

REPORT 1...3

事業所 TOPICS...4 ~ 5

REPORT 2...6

学園 Focus...7

教えて!〇〇先生 リレーコラム...8

ボランティア・施設見学・実習状況 みどころ...8

法人事務局	こども発達医療センター	オークス	かんざき清流苑
〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-97-6611 FAX0952-97-6611	〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-98-2211 FAX0952-98-3391	〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立168-1 TEL0952-98-3770 FAX0952-98-3772	〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8890 FAX0952-52-9977
在宅サポートセンターかんざき清流苑	からつ医療福祉センター	からつ医療福祉センター-在宅事業部	からつ医療福祉センター-好学会
〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8915 FAX0952-52-9977	〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	〒847-0001 佐賀県唐津市双水2787-1 TEL0955-78-1123 FAX0955-78-3001
糸島子どもとおとなのクリニック	かんざき日の隈寮	佐賀向陽園	居宅介護支援センターわいわい
〒819-1301 福岡県糸島市志摩井田原63-1 TEL092-327-0073 FAX092-327-0361	〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2950-2 TEL0952-52-2229 FAX0952-52-7229	〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立801-1 TEL0952-98-1074 FAX0952-98-3145	〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立799番地 TEL0952-71-8250 FAX0952-71-8252



ポスト・コロナで 日本と世界はどう変わったか

社会福祉法人 佐賀整肢学園
理事長

中 尾 清 一 郎

感染症分類変更から1年

2023年5月、日本では「新型」（この言葉を使うのにはうんざりする）コロナウィルス感染症の分類が引き下げられ「以前の日常生活が戻った」かのような報道、論評がなされている。日本のトンチンカンなコロナ対策を振り返ると、滑稽で、それでいてあまりに巨額の税金が浪費されたことに怒りを覚える。感染症の分類が変わったからといって、その日からコロナがなくなるわけではない。これはコロナの猖獗（しょうけつ）期、他県ナンバーの車にいちやもんつける人の認識と変わりはない。ウィルスに県境や国境があるはずもないのに、である。飲食店やオフィスで見かけた大量の亚克力パネルはいったいどこに行ったのだろうか。次のコロナ流行時までどこかにしまっておくのだろうか。亚克力の製造・廃棄は環境に多大の負荷がかかるのだが、「SDG's」バッジを誇らしげにつけている人の意見を聞きたい。ちなみに、日本の「SDG's」や「DX化」を見ていて思うのは、「環境にやさしい」「デジタル化」≡紙を使わないこと、ペーパーレスと同義になってしまっているのがおかしい。私の本業は新聞社経営であるが、言うまでもなく新聞は大量の紙を消費する。よって「SDG's」に反すと思っている人が居る。そもそも新聞用紙はリサイクルの塊であり、新聞や印刷物の「古紙」が減れば今後、リサイクルシステムが維持できずに紙需要がいかに減ろうともパルプ生産のための新規の森林伐採はやまらない。安直なペーパーレスはかえって環境負荷を高めることに気付いていない。また、私はテレビ局の「SDG's」宣言をうさん臭く眺めている。彼らにできる最初の取り組みは「テレビの電源を消しましょう、時計代わりにテレビをつけるのはやめましょう」だと思うのだが。テレビのつけっ放しをやめると、視聴率が大幅に下がることが知られている（笑）。

現在の「SDG's」はかつての「ISO取得」とよく似ている。ISOは工業製品やサービスなどの「世界基準」ということになっている。この取得には専門業者による定期的な「査定」が必要で、いったんISOを取得してしまうとその維持

のために半永久的に査定業者と付き合っていかなければならない。しかし、今では製品の品質やサービスの水準をわざわざ第三者が査定しなくても実際の取引で判断すればよい、という当たり前の常識に立ち返っており、かつてISO取得を金科玉条、「葵の御紋」のように振りかざす光景をめっきり見なくなった。

コロナで世界は学んだか

以上のような「コロナ狂騒曲」で世界や日本は何を学んだのだろうか。以前は、国と国が地上で通常兵器で戦う20世紀型の戦争はもう起きないとされていたのだが、ウクライナ侵攻でそれが覆った。世界情勢の不安定化はイスラエルのガザ地区侵攻を機に表面化、更には中国では習近平国家主席が台湾統一を公言して憚らず、今月、台湾では中国との統一に反対する新しい総統が就任する。「台湾有事は日本有事」と言われて久しいが、日本人には所詮外国の領土問題なのだととらえられている。「台湾有事」とは中国大陆と台湾海峡（台湾の西海岸）の問題ではない。台湾を東西南北全て中国の海軍と空軍が封鎖するのが台湾有事である。台湾東岸から沖縄県与那国島はわずか110キロの距離である。日本のとるべき政策は明らかだ。政治や行政の無駄をなくして防衛力をきちんと整備する。若者の教育を極力無償化の方向に向かわせる。少子・超高齢化は避けられないので、出産・育児には一切費用が掛からないのは最低ラインとして、子供を持つごとに十分なインセンティブを設けるなど制度設計に思い切った改革が必要である。ここまで国民が追い詰められていながら、今でも「選挙に行かない」「自分の一票では何も変わらない」と思う人が増えていることに危機感を覚える。権力者、為政者は大衆が政治に無関心であることを最も喜ぶことを知るべきだ。

御下
賜金

御下賜金伝達式

2月21日、佐賀県庁来賓室にて御下賜金の伝達式が執り行われ、御下賜金を賜る栄誉に浴しました。御下賜金とは2月23日の天皇誕生日に際し、社会福祉事業御奨励のため、毎年、各都道府県及び各政令指定都市の民間福祉施設・団体に対し、天皇陛下より金一封が御下賜されるものです。佐賀県内の事業所の中から、今年度はかんざき日の隈寮が選ばれ、佐賀県の推薦により拝受することとなりました。伝達式では山口知事より原副理事長へ「達書伝達」、「御下賜金伝達」が行われました。

その後知事を交えての歓談の場では、民間移譲の頃の話を始め様々な内容の会話が和やかな雰囲気の中行われました。その中で、知事は日の隈寮の職員離職率の低さや、定期的なメンタルヘルスチェックのストレス度が低いことに感心され、どうしてこんなに良い結果が出ているのか質問されました。これについては、施設長が目指す施設運営の特徴の一つに、利用者の幸福を追求すると共に、職員の幸福度アップ、満足度を追求する、というものがあり、このことが働きやすさにつながっているのではないかと説明いたしました。

佐賀整肢学園では平成2年にこども発達医療センター・た



んぽば園が拝受しており、今回で同法人2度目の拝受となり非常に光栄なことと思います。

これもひとえに、長きに渡りご支援くださいました幾多の利用者、ご家族、職員、地域住民、関係機関の皆様のおかげであることに心より深く感謝いたします。

今後は、地域におけるセーフティネットとしての機能を活かし、決してこの栄誉に恥じることのない適正な施設運営を継続していく所存です。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(かんざき日の隈寮 副施設長 真崎 小百合)

定年
祝賀法人内の各施設に勤務され、3月末で定年を迎えられた
11名の職員からのメッセージをお届けします

(所属、役職等は3月時点のものです)

小副川 さえ子

オークス入所サービス課 副課長

周りの方々の支えがあって無事に定年という節目を迎えることができました事、様々な経験と学びができた事大変感謝しています。ありがとうございます。

中村 規浩

オークス入所サービス課生活支援係 係長

人のお世話、手助けをしたいと一念発起し、この仕事に従事して20年。色々な事がありましたが、皆様に支えられ無事に定年を迎える事ができ、心より感謝申し上げます。もう少しお世話になりますので、よろしく願います。

澁谷 千恵子(看護師)

オークス在宅サービス課生活介護係

お陰様で無事定年を迎える事ができましたのも、皆様の温かいご指導と温情の賜物と厚く感謝致しております。これからも多くの素晴らしい方々との出会いを大切に、一層充実した日々を歩んで参ります。今しばらく皆様の日々の笑顔を楽しく過ごさせて頂きたいと思っておりますので、改めて宜しくお願い致します

秀島 美代子(看護師)

オークス入所サービス課看護係

無事定年を迎えられたのも、医務室をはじめ、皆様からの励ましや支えがあったからだと思います。本当にありがとうございました。一つの区切りを迎えたのを機に、自身の生活を振り返り、もっと楽しみをたくさん見つけて過ごしていきたいと思っています。

森 英明

法人事務局 事務局長・こども発達医療センター 事務部長

職員の皆さんに、そして家族に支えられ、無事に定年を迎えることができました。感謝の気持ちで一杯です。行事から建設までいろいろな仕事に携わらせていただき、楽しかった事が思い出されます。これからも感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思っています。

江口 元子(介護支援専門員)

こども発達医療センター総合相談室地域サービス係

職員の皆さまと関係事業所の方々に支えていただき勤めることができました。佐賀整肢学園で障がい福祉に関わりたくさんの事を学ばせていただきました。すべての出会いに感謝します。

石田 千秋(看護師)

こども発達医療センター西棟療育課看護係 係長

定年を無事に迎える事ができ、皆様に感謝申しあげます。これからは、まず五年先までの事を目標として計画しつつ、私なりに歩み、時にはスキップしながら過ごしていければと思っています。

陣内 千秋(看護師)

こども発達医療センター第3療育課看護係

入職して20年が過ぎ、定年の節目を迎えることができました。職員の皆様に支えられ感謝しています。これからも、皆様と一緒に頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。

古川 政弘

佐賀向陽園・わいわい 施設長

この度、定年という節目を迎えました。平成3年4月たんぽぽ園児園指導員として入職、在職中、清流苑開設、また県立日の隈寮及び県立佐賀向陽園の当法人への移譲事業にも関わらせていただき、充実した日々でした。これまで出会った先輩、上司、職員、そして家族応援の賜物と感謝で一杯です。今後も感謝の気持ちを忘れずにいきます。

川口 知行

からつ医療福祉センター好学舎 施設長

振り返りますと、昭和61年の採用時は、福祉の知識や経験もなく、不安もありましたが、皆様方の適切なアドバイスにより今までその職を全うすることができました。様々なことがありましたが、どれも良い思い出で私の財産です。特に「からつ医療福祉センター」の開院に関わらせていただいたことは大業ではありましたが、一生忘れない良い思い出です。38年勤め定年の節目を無事に迎えることができ、感謝でいっぱいです。皆様に対しても改めて厚くお礼申し上げます。また、今後も再雇用でお世話になりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

真崎 小百合

かんざき日の隈寮 副施設長

若い職員の方々に囲まれそのエネルギーをもらいながら実年齢を忘れ、勝手に若返った気になり楽しく仕事をさせて頂いていただきました。この度無事定年を迎えることをここに御礼申し上げます。

11名の職員の皆様
お疲れ様でした
ありがとうございました



オックスでは、以前の学園タイムスでも紹介した、抱えない介護「ノーリフト」に平成30年から取り組んでいます。現在、床走行リフター 4 台、移乗サポートロボット (Hug) 4 台、スライディングボードやスライディングシートを導入し、ノーリフトをさらに推進しています。

そして、今年度はあすなろ福祉財団様からの補助金を活用し、11月末に浴室の脱衣所に天井走行リフターを設置することができました。設置したことによって、利用者の方の更なる安全面を確保することができ、職員の身体的負担の軽減にも繋がっています。利用者の方からは、「最初は不安だったけど今は慣れた。安心感がある。」といった

声をいただきました。機器を使用することによって、安全で安楽な移乗を提供できるようになりました。

現在、移乗機器を利用している方は全体の1/3程度ですが、今後、利用者の方の機能低下に伴い、利用する方々が増えることが予想されます。適した機器の選定と、利用者の方のニーズに沿い不安を与えないよう、職員の操作技術の向上に日々努めていきます。

今回、本工事にご支援いただきましたあすなろ福祉財団様をはじめ関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

(入所サービス課 主任 青方 克樹)



からつ医療福祉センターでは、公益財団法人日本財団(新型コロナウイルス等感染症対策整備)の支援を受け、会議室をリハビリ室に転用する改造工事を行いました。

5 類に移行し 1 年以上が経過した現状では、新型コロナは消退と再発の大波をゆっくりと繰り返しており、外来患者や通所利用者にとっては、家族を含め常に陽性者が発生する可能性があります。外来患者のリハビリ空間と入所利用者のリハビリ空間が重なっている当センターの環境では、ひとたび市中で新型コロナが流行した場合、入所利用者に感染が拡大するおそれがありました。このことから、入所利用者の機能維持のためのリハビリや療育活動を継続して実施するために、在宅からの利用者と入所利用者の区

画を分けることは、感染管理の観点からも重要であると考えられます。

工事自体は大規模なものではありませんでしたが、既存の会議室を転用することから、その代替となる部屋の確保や環境の整備など、着工前の準備が煩雑でした。

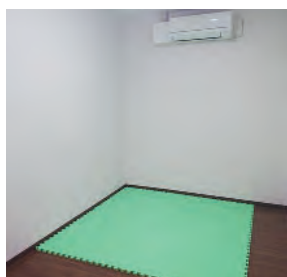
今後、このリハビリ室を並行して利用することで、新型コロナ流行期においても、在宅・入所双方の利用者に対し継続した医療・療育を提供していきたいと考えます。本工事にご支援いただきました日本財団様をはじめ関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

(総務部 部長 田中 邦典)

総工事費：9,900,000円(税込)
支援金額：6,019,000円
施工：株式会社 中野建設



工事前



工事後



工事後

事業所 TOPICS

(12月～3月)

能登半島地震災害義援金

3月

かんざき日の限寮



かんざき日の限寮では、利用者の皆さんで運営される自治会という組織があります。今回、令和6年1月1日に発生した能登半島地震で被災された方々へ私たちに何か支援できることはないか、自治会・職員利用者懇談会で話し合いを行い、利用者の皆さん・職員で義援金を集めることになりました。

集まった義援金は、自治会を代表して自治会長より佐賀県共同募金会様へ寄附いたしました。また、「今回の義援金を被災者支援に活用してもらいたい」とメッセージを伝えられました。その後、佐賀県共同募金会様より、共同募金会の仕組みや活動を説明していただき、地域の福祉づくりへの理解を深めることができました。今回の義援金は、佐賀県共同募金会様より被災地を一括支援する中央共同募金会様を経由して、被災者支援に活用されるとのことです。

普段、日の限寮は共同募金の一環である「歳末たすけあい募金」の配分をいただいている立場ですが、今回義援金という形で被災された方々に少しでも寄り添うことができたいと思います。今後も利用者の皆さんと一緒に、困っている方々のために何かできることはないか考え、当たり前ではない日常に感謝したいと思います。

(総務課 副課長 姉川 久子)



利用者送迎用車両の整備 (日本財団) 3月

居宅介護支援センターわいわいでは、公益財団法人日本財団（R5年度 福祉車両配備に係る助成金）の交付決定をいただき、普通車両1台を整備いたしました。

この車両はデイサービス事業の送迎以外でも地域の高齢者の方を対象に実施している介護予防事業のコミュニティサロン・カフェ「あつまろうよつばカフェ」の送迎にも活用ができています。

また、地震や大雨などの災害発生時には、災害車両として地域住民の避難時の送迎などにも有効に活用することが可能となりました。

佐賀向陽園・わいわい

これからも、日本財団様の考える「みんながみんなを支える社会」を目指しつつ、利用者の方の処遇向上のため、安全・安心に配慮した生活環境の改善・支援を提供していきたいと思います。

本事業に格段のご配慮を賜りました日本財団様をはじめで協力いただきました関係各位に心からお礼申し上げます。

(在宅サービス課 副課長 内村 美沙子)

購入価格：3,972,380 円
補助金：3,060,000 円



REPORT 2

災害 派遣

能登半島地震 1.5 次避難所での活動について

こども発達医療センター 西棟療育課課長 古川 喜代美

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、死者数241名（2/8現在）、今なお被害の全容が把握できないほどの大規模災害となりました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回、令和6年2月8日から2月11日までの4日間、石川県金沢市の1.5次避難所「いしかわスポーツセンター」にて夜勤業務介護職員として活動いたしましたので、皆様にご報告いたします。

この避難所は、国体が開催された場所でもとても広大な敷地にあり、スポーツセンターにはプールやジムも設置される大きな施設でした。このうち、メイン・サブ・マルチの3ヶ所が避難所として使用されていました。

メインアリーナでは生活に支障がない方、サブアリーナでは認知症や統合失調症の方、マルチアリーナでは寝たきりの方、と分けられており、私はサブアリーナで介護業務を行いました。

配置されたグループには、能登・珠洲・七尾から避難された70～90歳代の約30名がいらっしゃいました。家が全壊となった方、家はあるが道路が寸断されヘリコプターで避難した方、養護老人ホームや特別養護老人ホームから避難した方など様々でした。「地震のことを聞いたら嫌な思いをさせてしまうのではないかな」と思い、最初はあえてそういった質問をしていませんでしたが、ご夫婦で避難されている方とゆっくりお話す機会がありました。奥様は「地震の時の話を聞いてもらって、楽になった。」と話をされました。

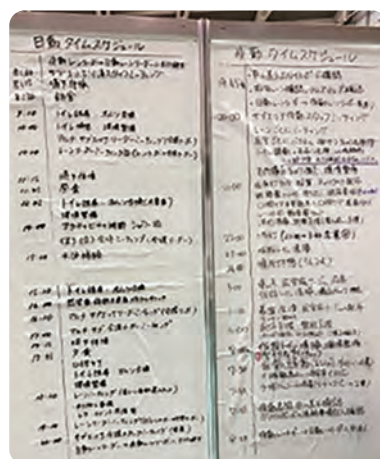
4日間という短い期間の派遣業務でしたが、「災害のない生活が当たり前ではない」ということを肌で感じ、色々なことを考えさせられる、とても意義ある派遣であったと思いました。また、今回の貴重な経験を多くの方に伝えていくことが使命であると思いました。

今回の派遣にご承諾いただいた全ての皆様、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



「配置図」

とても広い
施設でした



「スケジュール」

このスケジュール
を確認しながら
支援します



「キッズスペース」



「授乳室」

避難者は高齢者だけではないため、このような
スペースも作られていました

佐賀整肢学園で活躍する様々な人に焦点を当てる「学園 FOCUS」。

今回は、オークス 在宅サービス課 生活支援員
キン シン アウンさんに日本での生活の様子や休日の過ごし方、今後の目標について語っていただきました！

Q 日本で勉強、仕事をしようと思ったきっかけを教えてください。

A ミャンマーでは通訳の仕事をしていたので、もともと日本語を勉強していました。日本の生活に慣れたい、日本の学校で勉強をしてスキルアップを目指したかったからです。

Q 来日して3年目になりますが、日本での生活はどうですか？

A 日本での生活には慣れました。ミャンマーは都会で人口も多く遊ぶところが多いので、時々寂しく感じるときもあります。佐賀は自然も多く、住みやすいと思います。

Q 去年の11月に自動車免許を取られたとのことですが、免許を取ろうと思ったきっかけを教えてください。

A 佐賀にいとこが住んでいます。いとこに会いに行きたいし、車であちこちお出かけをしたかったので免許を取りました。教習所に通いましたが、特に路上試験が難しかったです。最近は実際に車を運転しています。行動範囲が広がって楽しいです。



Q 休日は何をして過ごしていますか？

A オークスでの勤務表が出来れば、すぐに友達と連絡を取り、観光地などを調べて外出のスケジュールを立てます。旅行が好きなので、行ったことのないところへ行くのが楽しみで、日本全国観光したいと思っています。今までに鹿児島を除く九州の各県には行きました。特に沖縄はココナツの木、パパイヤの木などが植



「熊本城」



「太宰府」

学園 FOCUS



キンシンアウンさん

オークス
在宅サービス課
生活支援員



「多良岳」

樹されており、気候や環境がミャンマーに似ていて良かったです。また、ゴーヤの料理や豚料理もとても美味しかったです。

別府では温泉に入りました。日本人はプライベートをしっかり守る国なのに、温泉などでは裸の付き合いをするので、不思議な感覚を覚えました。

Q 料理が好きとのことですが、どんな料理を作っていますか

A ミャンマーにいる時から YouTube で日本の料理を作っている動画を見るのが好きでチキン南蛮なども作っていました。ミャンマーの料理では「モヒンガー」（日本のラーメンのような物）を作ることが多いです。サーモン、豆、ニンニク、タマネギ、ショウガ、レモングラス、ナンプラー（俗に日本でいう醤油）などをミキサーにかけてそれでダシを作ります。日本の素麺にダシをかけてパクチーなどをのせて食べます。



Q 今後の目標やチャレンジやしたいことがあれば教えてください。

A 今年7月に受ける日本語能力試験N1に合格したいです。

また、海外旅行にも行きたいと思っています。国民のみんなが幸せにあふれていると言われている国、「ブータン」。韓国ドラマや映画が好きなので、撮影が行われた場所に行きたいし、出来れば俳優さんにも会いたいです。また、ドラマの中で美味しそうに食べている料理を本場で食べたいと思っています。

教えて!先生

第4回 『うちの保育士から』

保育士さんの様々な制作は子ども達のみならず、私たちの目を度々楽しませてくれます。今号は、そんな保育士さんの制作にスポットをあてました。



皆さん、からつ医療福祉センターまつぼっくり教室の入り口にあるキリンの門はご存知ですか？

このキリンの門は段ボールの空き箱を利用し、子どもたちの手形を模様に見立てスタッフと子ども達が力を合わせて製作した作品です。

行事では運動会や卒園式で大活躍♪

時には子ども達のかけっこや障害物競走のスタート、時には新たな門出を優しい表情で見守ってくれました。

行事に合わせて表情が七変化する姿も見られますので是非見に来てくださいね！



令和5年12月～令和6年3月

協力ボランティア

- 【こども】 整肢学園友の会様、親和会様、NEXCO 西日本(株)様、(株)佐電工様
- 【清流苑】 ビハール神埼様
- 【オークス】 西九州大学様
- 【日の隈】 藤間静浄様（日舞クラブ）、高口美奈子様（フラワーアレンジメントクラブ）

施設見学来訪

- 【こども】 柳川市民生委員児童委員協議会23名様、福島整肢療護園8名様、国際医療福祉大学大川キャンパス言語聴覚学科2名様
- 【オークス】 福島整肢療護園6名様
- 【かわ・好・絆】 か) 福島整肢療護園8名様、唐津特別支援学校4名様、久里小学校2名様、大志小学校2名様、好) 鳥栖市民生委員児童委員連絡協議会17名様
- 【向陽園】 川副地区民生委員・児童委員協議会30名様、川副支所職員1名様
- 【日の隈】 社会福祉法人 特別区社会福祉事業団1名様

実習生受入

- 【こども】 佐賀医大医学部49名、佐賀市医師会立看護専門学校24名、西九州大学社会福祉学科1名、佐賀女子短期大学こども未来学科1名
- 【オークス】 九州医療専門学校社会福祉士通信学科1名、西九州大学短期大学部地域生活支援学科1名
- 【清流苑】 神埼清明高校7名、筑紫女学園大学人間科学部1名
- 【かわ・好・絆】 か) 佐賀女子短期大学地域みらい学科2名、西九州大学リハビリテーション学科3名、福岡こども短期大学1名、神戸学院大学作業療法学科1名
- 【日の隈】 神埼清明高校2名、西九州大学社会福祉学科4名

Relay Column

リレーコラム



かんざき清流苑
入所サービス課 生活支援係
介護福祉士

こが としあき
古賀 俊賢

かんざき清流苑で介護福祉士として働き始めて5年が経ちました。この間に世の中では新型コロナウイルスの流行、また最近では石川県・能登半島沖地震をはじめ日本各地での地震及び災害など心痛める出来事が起きました。

私自身もこの5年で様々な経験をしてきました。中でも一番つらかった出来事が、15年間一緒に過ごしてきた愛犬の死でした。15年間楽しい時もつらい時もいつも側に居て家族を癒してくれました。時には、家から脱走したり、猫を追いかけて水路に落ちたり。怪我がないかと心配しましたが、その心配をよそに呑気に歩いていました。その他にも一緒に旅行やドライブに行ったり、数えきれないほどの思い出をくれました。

そして最期の時は私が夜勤であったため、一緒にいてあげることができず、看取ることができませんでしたが、代わりに家族がしっかりとケアをしてくれていたのが幸せだったと思います。愛犬が居なくなってから、喪失感から心にぽっかり穴が空いたような感覚に陥りました。しかし、家族や職場の上司、同僚、後輩、その他の職員の支えがあったため乗り越えることができ、仕事に以前より打ち込めることができるようになりました。このことから改めて人を支えることの大切さを感じました。これからは私自身も支えてもらえばかりではなく、利用者の皆さんの心に寄り添えるように心がけ、努力していきたいと思います。

NEXT…からつ医療福祉センターのあの人にバトンタッチ!!

学園タイムス

表紙写真大募集!

学園タイムスの表紙を飾る写真を職員の皆さんから募集しています。佐賀県及び糸島市で撮影した写真であれば、風景はもちろん、食べ物や飲み物、催事等、どんな写真でもご応募いただけます。下記QRコードからメールで簡単に応募可能です。



たくさんのご応募、お待ちしております。

見どころ

今号では、偶然にも補助金やボランティアなどの報告が重なりました。社会福祉法人として、皆様のご厚意を受け取るだけでなく、地域貢献事業も含め、今後も様々な角度から佐賀整肢学園をご紹介できればと思います。コロナに加えインフルエンザ他いろんな感染症が流行した冬が終わり、新緑の季節を迎えました。行楽の季節を楽しむ声が聞こえてきます。お出かけの際は、ぜひ佐賀整肢学園の職員の皆さんは表紙候補の写真撮影をお忘れなく！応募よろしくお願いします。

